

ディーラーマニュアル

ロード	MTB	トレッキング
シティツーリング／コンフォートバイク	アーバンスポーツ	E-BIKE

レボシフト シフター

SHIMANO

- SL-RV100
- SL-RV200
- SL-RV300
- SL-RV400

TOURNEY

- SL-RS47
- SL-RS45
- SL-RS36
- SL-RS35
- SL-RS34
- SL-RS25




目次	
重要なお知らせ	3
安全のために	4
使用工具一覧	5
取付け/取外し	6
シフトレバーの取付け	6
調整	7
はじめに	7
左レバーの調整	7
右レバーの調整	14
SISの調整	18
メンテナンス	20
インナーケーブルの交換	20

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書もあわせてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全てのマニュアル、技術資料はウェブサイト <https://si.shimano.com> でご覧いただけます。
- インターネットのご利用が難しいお客様から、印刷されたユーザーマニュアルを問い合わせいただく場合があります。シマノ代理店またはシマノ営業所に印刷版のユーザーマニュアルをお申し付けください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。


安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険	「死亡や重傷を負う内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために

警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書の指示に従う。
その際、シマノ純正部品を使用してください。製品や交換部品が不適切に組立て、調整されていると、製品の不具合を招き、転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、適正な目の保護具を着用する。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- レバー操作時には必ずクランクアームを回しながら操作をおこなってください。
- チェーンリングおよびスプロケットは定期的に中性洗剤で洗浄してください。また、チェーンを中性洗剤で洗浄し注油することも、チェーンリング、スプロケットおよびチェーンの寿命を延ばす効果があります。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。
- 最大限の性能を発揮するために、シマノ製の潤滑剤とメンテナンス製品の使用を強くお勧めします。

自転車への組付け、整備に関する事項

- フリクション対応のフロントディレーラーを使用する場合は、下記のシフトレバーとの組合わせでご使用ください。

	シフトレバー	
	SL-RV100-LN / SL-RV200-LN / SL-RV300-LN / SL-RV400-LN / SL-RS36-LN / SL-RS35-LN / SL-RS34-LN / SL-RS25-LN	SL-RV200-L / SL-RV300-L / SL-RV400-L / SL-RS47-L / SL-RS45-L / SL-RS36-L / SL-RS35-L
フロントディレーラー FD-TZ31 / FD-TZ30 / FD-TZ21 / FD-TZ20	OK	不可

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

使用工具一覧

製品の取付け/取外し、調整、メンテナンスには下記の工具が必要です。

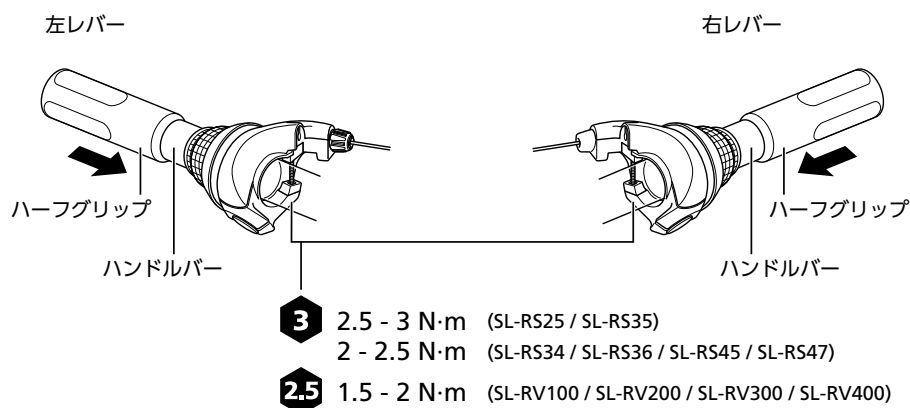
工具	
	2.5 mm六角レンチ
	3 mm六角レンチ
	5 mm六角レンチ
	9 mmスパナ
	プラスドライバー
	プラスドライバー[# 1]
	TL-CT12

取付け/取外し

シフトレバーの取付け

1. ブレーキ操作に支障をきたさない位置にシフトレバーを取付けます。

- ブレーキ操作に支障をきたす場合は組合わせ使用しないでください。
- レボシフトレバーと HALF グリップの間に、0.5 mm のすき間をあけます。SL-RV100 / SL-RV200 / SL-RV300 / SL-RV400 は、すき間をあける必要はありません。



調整

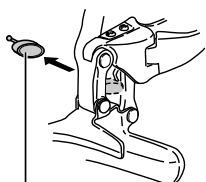
はじめに

左レバー / 右レバーの調整は、必ずそれぞれの記載項目の順序でおこなってください。

左レバーの調整

□一側の位置調整

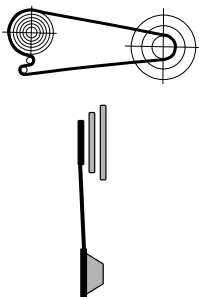
1. プロセットアライメントブロックが付いているモデルは取外します。



プロセットアライメントブロック

2. チェーンを最小チェーンリングと最大スプロケットに合わせます。

最大スプロケット 最小チェーンリング

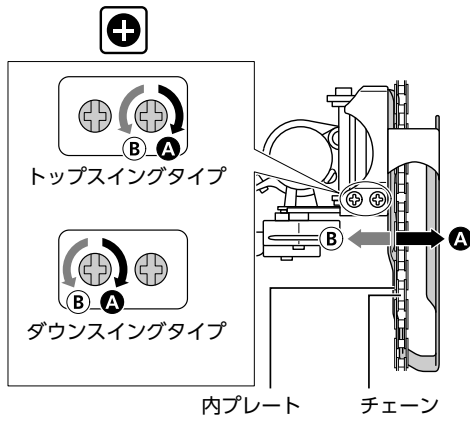


調整

左レバーの調整

3. フロントディレラーのロー側位置を調整します。

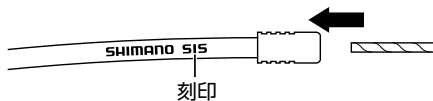
内プレートとチェーンのすき間を0 ~ 0.5 mmに調整してください。



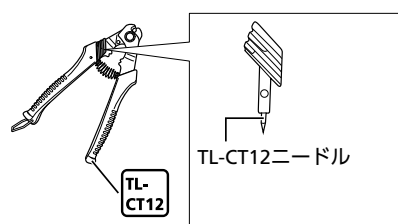
インナーケーブルの取付けと固定

使用上の注意

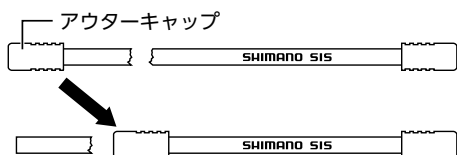
- アウターケーシングの刻印側からインナーケーブルを通してください。
- ケーブル効率維持のため、刻印側にグリスが封入されています。



- アウターケーシングを切断する場合には刻印の反対を切断してください。
- 切断後の端面は、外側を真円に戻し、TL-CT12ニードルなどで穴の内側を整えてください。



- アウターキャップは、切断後も同一物を使用してください。

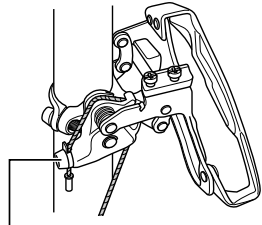


調整

左レバーの調整

1. インナーケーブルを強く引っ張りながら、ワイヤー固定ボルトを締めて固定します。

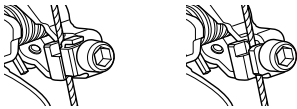
トップスイングタイプ : FD-M310 / FD-M315 / FD-TX800 / FD-TY700 / FD-TY710 / FD-TY500 / FD-TY510



5 5 - 7 N·m

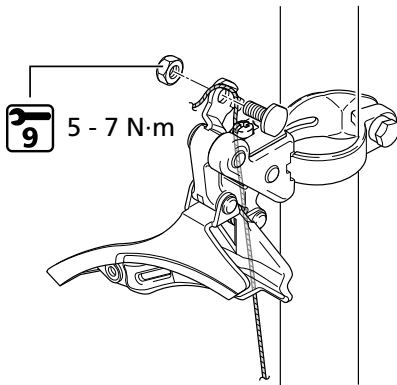
使用上の注意

- インナーケーブルは図のように通してください。

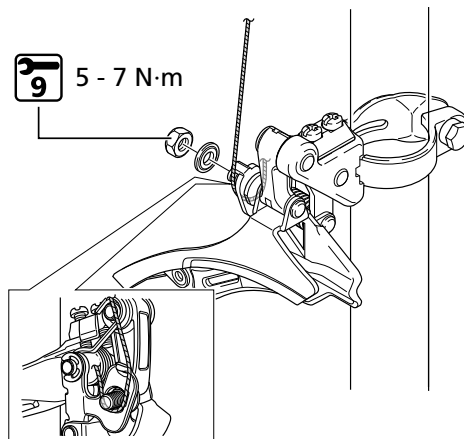


ダウンスイングタイプ : FD-M313 / FD-TY300 / FD-TZ500 / FD-TZ510

ノーマルタイプ



トップルートタイプ

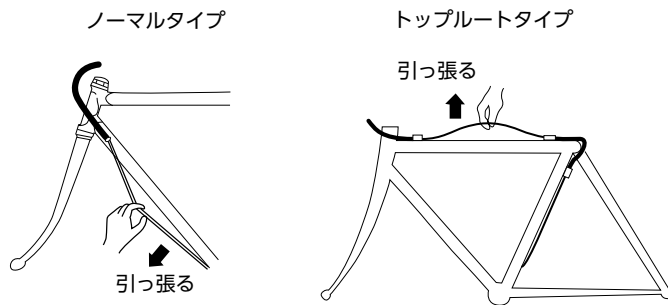


調整

左レバーの調整

ケーブルの張り調整

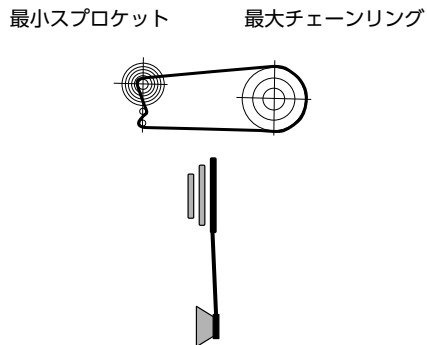
1. インナーケーブルの初期の伸びを取った後、再びフロントディレラーに固定し直します。



2. 不要なケーブルを切断し、エンドキャップを取付けます。

トップ側の調整

1. チェーンを最大チェーンリングと最小スプロケットに合わせます。

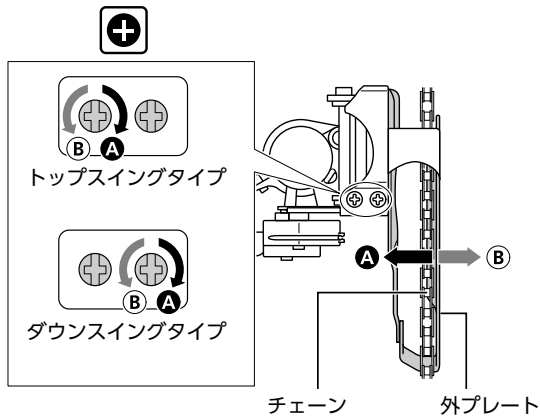


調整

左レバーの調整

2. フロントディレクターのトップ側位置を調整します。

外プレートとチェーンのすき間を0 ~ 0.5 mmに調整してください。

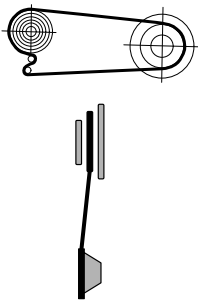


中間チェーンリングの調整

LN（フリクションタイプ）にはケーブル調整ボルトがないため、この調整は必要ありません。

1. チェーンを最大スプロケットにセットし、フロントを最大チェーンリングから中間チェーンリングに変速させて調整します。

最大スプロケット 中間チェーンリング

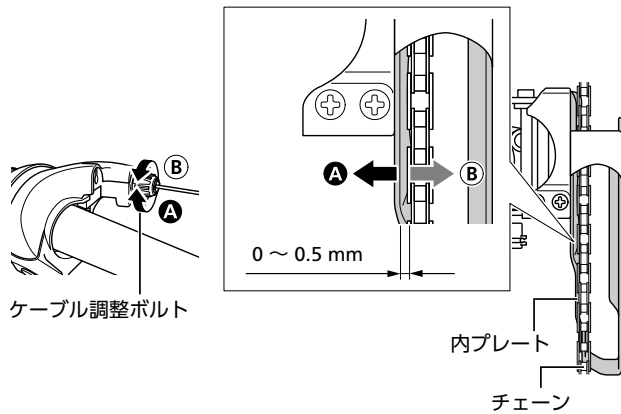


調整

左レバーの調整

2. チェーンガイドの中間チェーンリング位置を調整します。

内プレートとチェーンのすき間が0 ~ 0.5 mmになるようにケーブル調整ボルトで調整してください。



変速の確認および微調整

全ての調整を終えた後、シフトレバーを操作して変速の確認をします。（使用しているうちに変速しにくくなった場合も同様です。）

調整

右レバーの調整

状況	調整方法
クランク側へチェーンが落ちてしまうとき	トップ調整ボルトを時計回りに回す。
中間チェーンリングから最大チェーンリングに変速しにくいとき	ケーブルを張る。それでも改善しない場合はトップ調整ボルトを反時計回りに回す。
中間チェーンリングから最小チェーンリングに変速しにくいとき	ロー調整ボルトを反時計回りに回す。
チェーンがクランクセットの最大チェーンリングの位置でフロントディレラーの内プレートとチェーンが干渉するとき	トップ調整ボルトを時計回りに回す。
チェーンがクランクセットの最大チェーンリングの位置でフロントディレラーの外プレートとチェーンが干渉するとき	ケーブルを張る。それでも改善しない場合はトップ調整ボルトを反時計回りに回す。
最大チェーンリングから変速して中間チェーンリングを飛び越えてしまうとき	ケーブルを張る。
中間チェーンリング位置でリアを最大スプロケットにしたとき、チェーンがフロントディレラーの内プレートと干渉する場合	ケーブルを緩める。
最大チェーンリングから中間チェーンリングに変速しにくいとき	
ボトムブラケット側へチェーンが落ちてしまうとき	ロー調整ボルトを時計回りに回す。

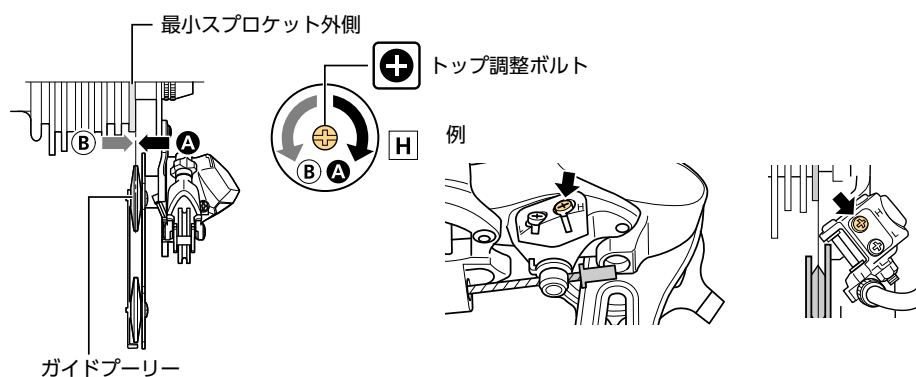
右レバーの調整

トップ側の調整

1. トップ調整ボルトを回して調整します。

後方から見て、ガイドプリーリの中心が最小スプロケットの外側の線と揃うようにしてください。

* トップ調整ボルトの位置はモデルによって異なります。

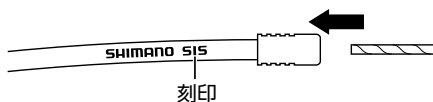


2. チェーンを取付けます。

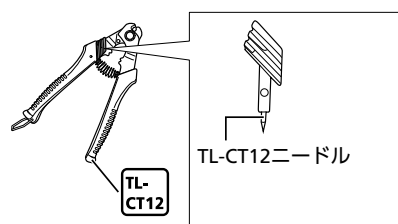
インナーケーブルの取付けと固定

使用上の注意

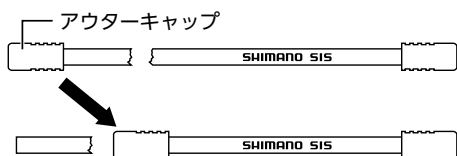
- アウターケーシングの刻印側からインナーケーブルを通してください。
- ケーブル効率維持のため、刻印側にグリスが封入されています。



- アウターケーシングを切断する場合には刻印の反対を切断してください。
- 切断後の端面は、外側を真円に戻し、TL-CT12ニードルなどで穴の内側を整えてください。



- アウターキャップは、切断後も同一物を使用してください。

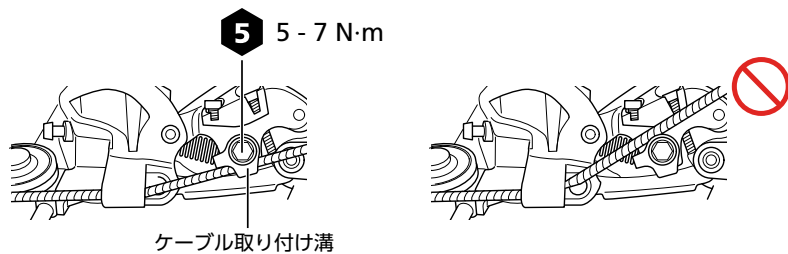


調整

右レバーの調整

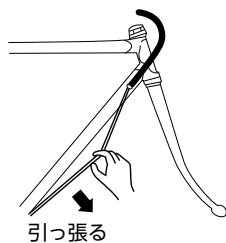
1. インナーケーブルをリアディレクターに固定します。

インナーケーブルは必ずケーブル取り付け溝に沿わせて固定してください。



ケーブルの張り調整

1. インナーケーブルの初期の伸びを取った後、再びリアディレクターに固定し直します。



2. 不要なケーブルを切断し、エンドキャップを取付けます。

□一側の調整

1. クランクアームを回しながらレバーを操作して最大スプロケットに変速させます。

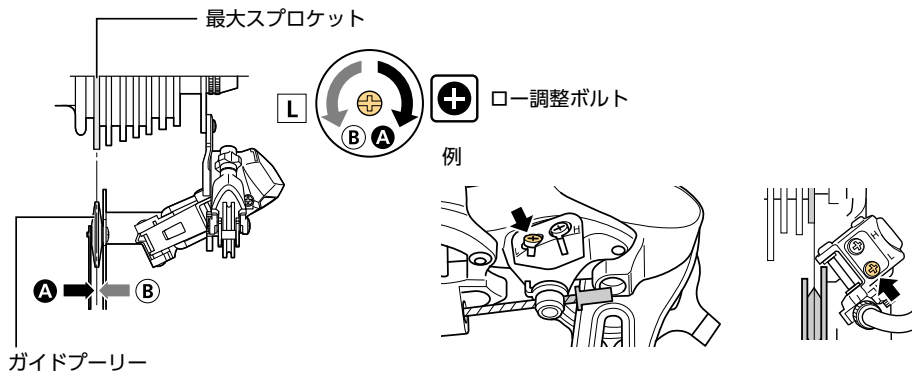
調整

右レバーの調整

2. ロー調整ボルトを回して調整します。

ガイドプリーリの中心が最大スプロケットの中心に揃うようにしてください。

* ロー調整ボルトの位置はモデルによって異なります。



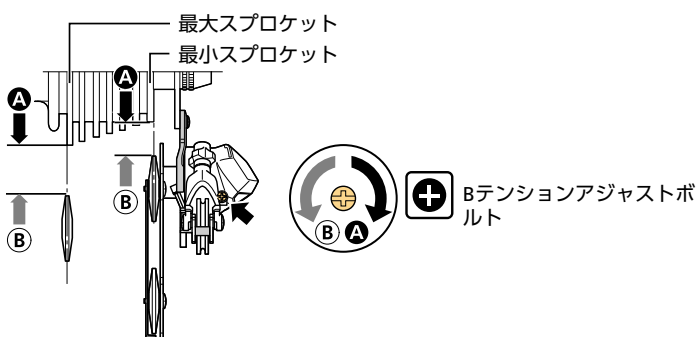
Bテンションアジャストボルトの調整

RD-M360 / RD-M310 / RD-TX800 / RD-TY500 / RD-TY200-SS / RD-TY200-GS

1. チェーンを最大スプロケットと最小チェーンリングにセットし、クランクアームを逆に回します。
2. チェーンづまりしない位置までガイドプリーリがスプロケットに近づくようにBテンションアジャストボルトを回して調整します。
3. チェーンを最小スプロケットにセットして、同様にチェーンテンションが取れていることを確認します。

RD-TY21B / RD-TZ500

1. 適切な変速性能を維持するため、チェーンを最大スプロケットと最小チェーンリングにセットします。
2. 目安として、スプロケットの歯先からガイドプリーリ歯先までの距離が10 mmとなるようBテンションアジャストボルトを回して調整します。



3. チェーンを最小スプロケットにセットして、同様にチェーンテンションが取れていることを確認します。

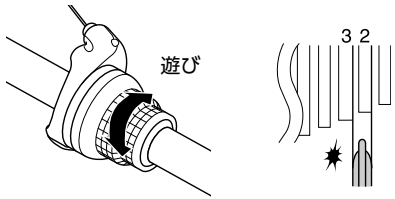
SISの調整

1. シフトレバーを1回操作して、チェーンを最小スプロケットから2段目に変速させます。

2. レバーの遊び分だけ操作した状態で、クランクアームを回転させます。

TECH TIPS

- シフトレバーをレバーの遊び分だけ操作した状態でチェーンが最小スプロケットから3段目のスプロケットに接触し、音鳴りする状態がベストセッティングです。



チェーンが最小スプロケットから3段目のスプロケットに変速する場合

チェーンが最小スプロケットから2段目のスプロケットに戻るまで調整ボルトを締めます。(時計方向)

* 調整ボルトの位置はモデルによって異なります。



全く音鳴りがしない場合

チェーンが最小スプロケットから3段目のスプロケットに接触し音鳴りがするまで調整ボルトを緩めます。(反時計方向)



3. レバーをもとの位置に戻し（チェーンは最小スプロケットから2段目の位置でレバーから指を離した状態）、クラックアームを回転させます。

チェーンが最小スプロケットから3段目のスプロケットと接触し、音鳴りが残っている場合は調整ボルトを少し締めて（時計方向）、音鳴りのしないぎりぎりのポイントで止めるようにしてください。

4. レバーを操作して変速し各段で音鳴りがないことを確認します。
5. SISの機能を十分に持続させるために伝達各部にオイルメンテナンスをおこないます。

メンテナンス

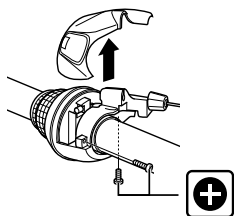
インナーケーブルの交換

SL-RS47 / SL-RS45 / SL-RS36 / SL-RS35 / SL-RS34 / SL-RS25

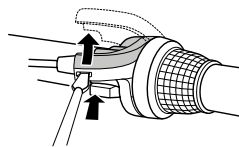
1. シフターを操作してチェーンを最小スプロケット（リアの場合）/最小チェーンリング（フロントの場合）に変速します。
2. カバーを外します。

左レバー

SL-RS47 / SL-RS45 /
SL-RS36 / SL-RS34

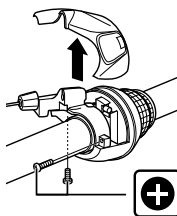


SL-RS35 / SL-RS25

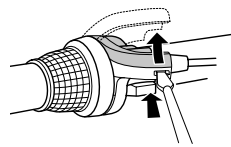


右レバー

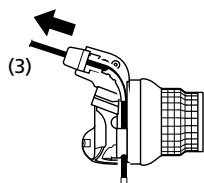
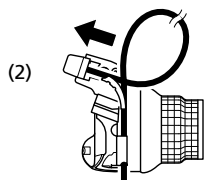
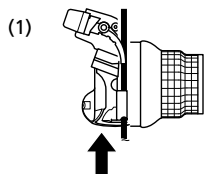
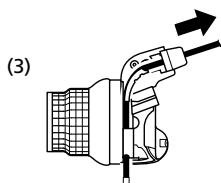
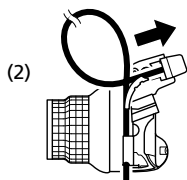
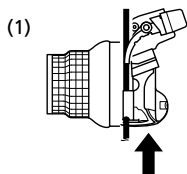
SL-RS47 / SL-RS45 /
SL-RS36 / SL-RS34



SL-RS35 / SL-RS25



3. (1) ~ (3) の手順でインナーケーブルを交換します。



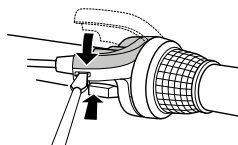
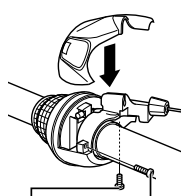
メンテナンス インナーケーブルの交換



4. カバーを取付けます。

左レバー

SL-RS47 / SL-RS45 /
SL-RS36 / SL-RS34

SL-RS35 / SL-RS25

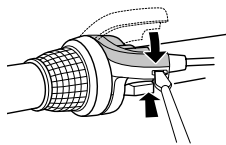
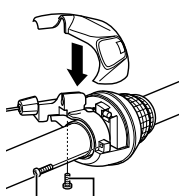




-  0.1 - 0.25 N·m
(SL-RS47 / SL-RS45 / SL-RS36)
- 0.1 - 0.2 N·m
(SL-RS34)
-  0.1 - 0.25 N·m
(SL-RS47 / SL-RS45 / SL-RS36)
- 0.1 - 0.2 N·m
(SL-RS34)

右レバー

SL-RS47 / SL-RS45 /
SL-RS36 / SL-RS34

SL-RS35 / SL-RS25

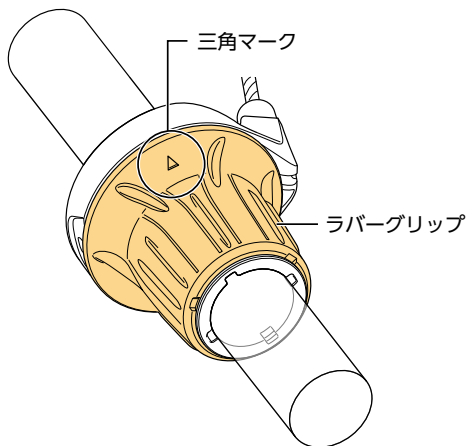


-  0.1 - 0.25 N·m
(SL-RS47 / SL-RS45 / SL-RS36)
- 0.1 - 0.2 N·m
(SL-RS34)
-  0.1 - 0.25 N·m
(SL-RS47 / SL-RS45 / SL-RS36)
- 0.1 - 0.2 N·m
(SL-RS34)

SL-RV100 / SL-RV200 / SL-RV300

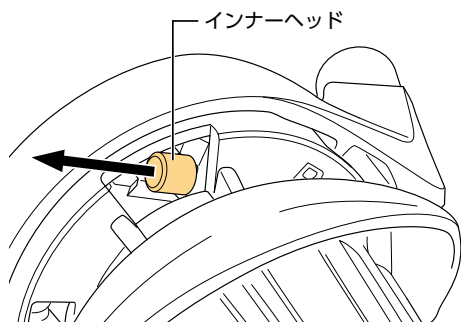
1. ラバーグリップを三角マークの箇所からめくります。

インナーケーブルのインナーヘッドが見えるようになります。

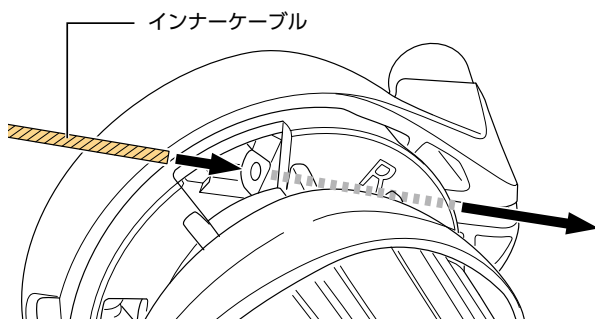


メンテナンス インナーケーブルの交換

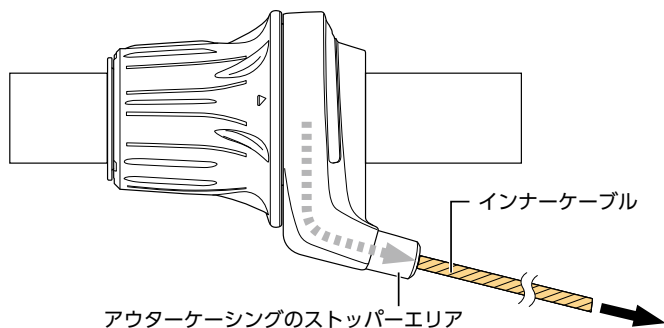
2. インナーヘッドを引き出して、インナーケーブルを取外してください。
鋭利な工具などを使用して、インナーヘッドを引き出してください。



3. 新しいインナーケーブルを穴に挿入します。



4. インナーケーブルをブラケットに通して、アウターケーシングのストッパーエリアから出します。

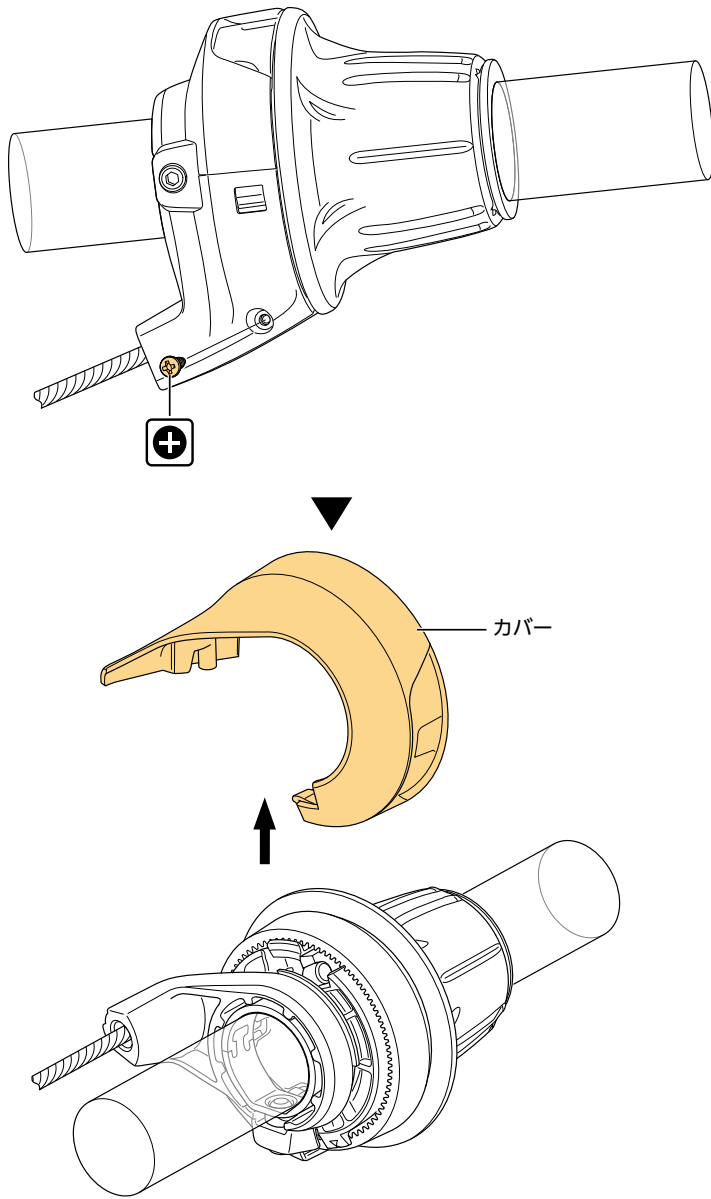


SL-RV400

1. シフターを操作してチェーンを最小スプロケット（リアの場合）/最小チェーンリング（フロントの場合）に変速します。

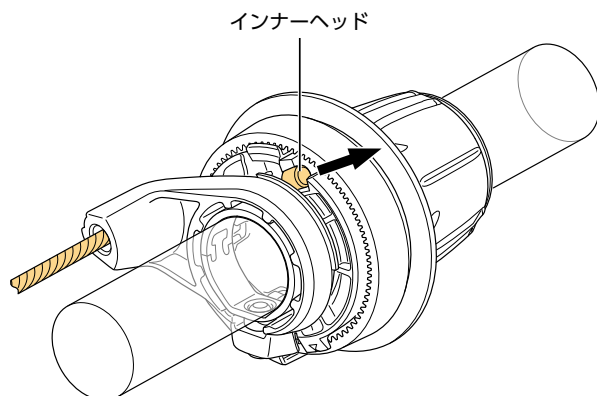
メンテナンス
インナーケーブルの交換

2. カバーを取外します。

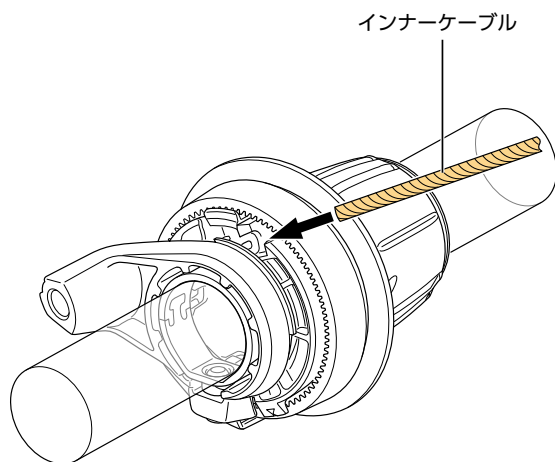


メンテナンス インナーケーブルの交換

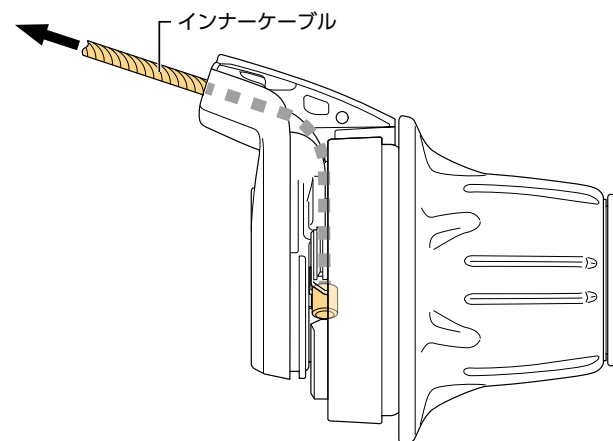
3. インナーヘッドを引き出して、インナーケーブルを取外します。
鋭利な工具などを使用して、インナーヘッドを引き出してください。



4. 新しいインナーケーブルを穴に挿入します。

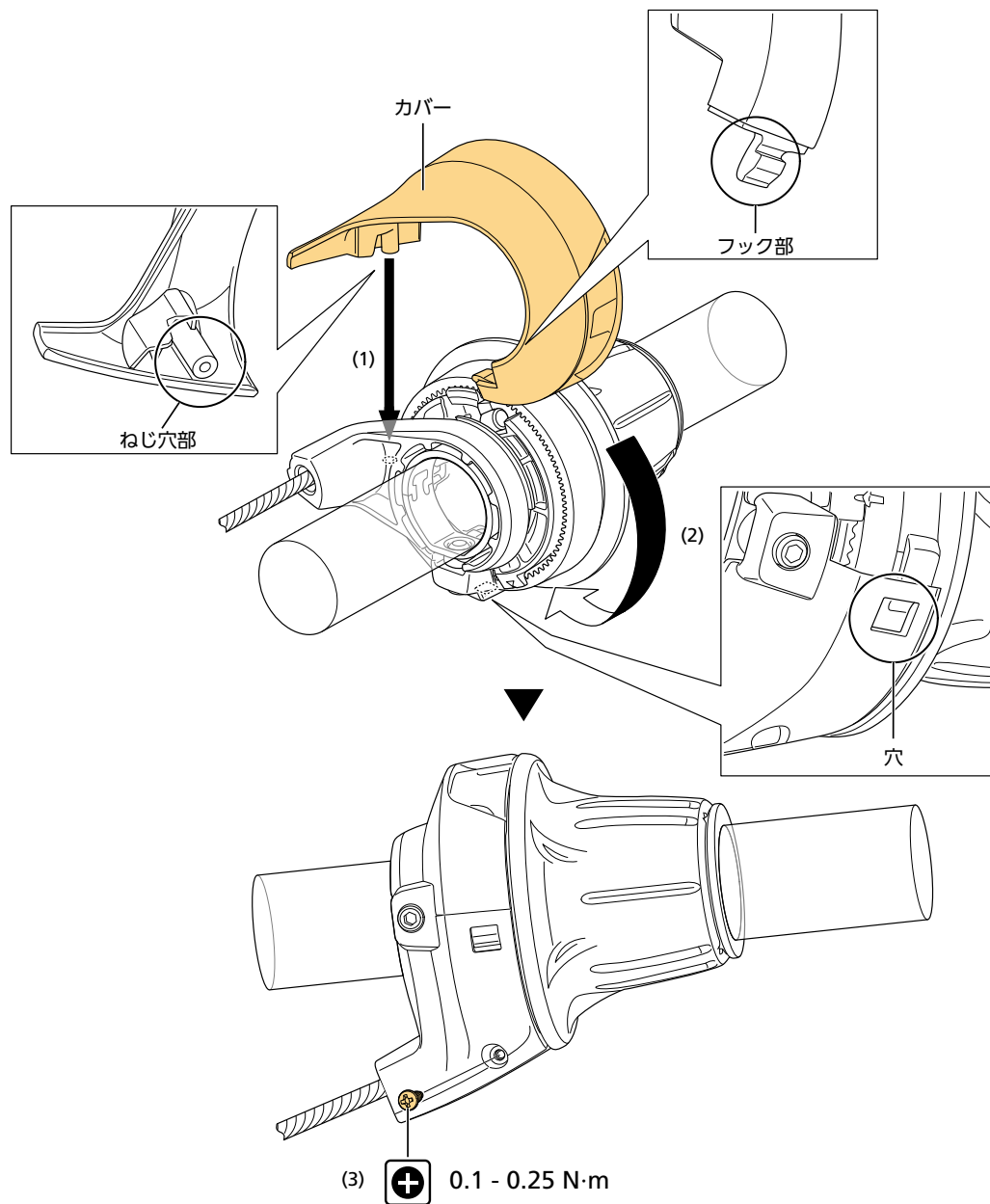


5. インナーケーブルをブラケットに通します。



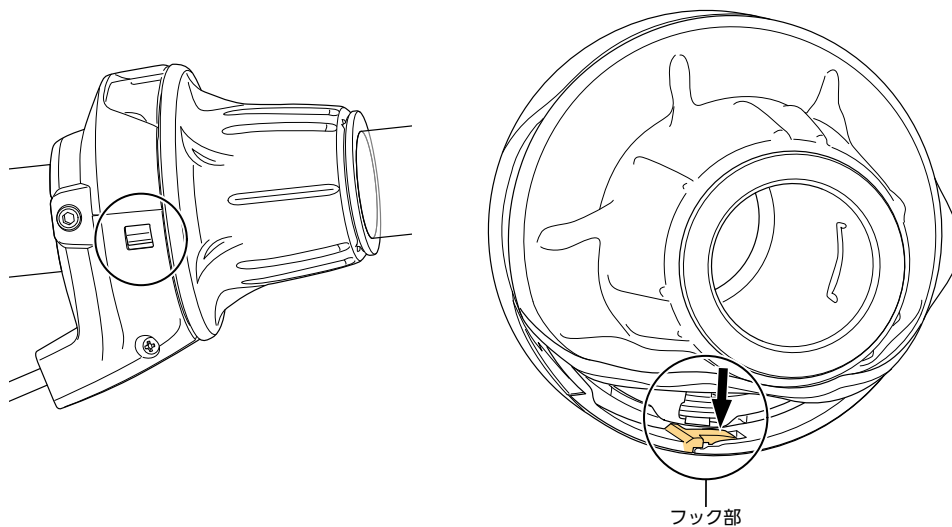
6. カバーを取付けます。

- (1) カバーのねじ穴部からブラケットに取付けます。
- (2) カバーをブラケットに沿って取付けていき、フック部をブラケットの穴に引っ掛けます。
- (3) ねじを締めつけます。



使用上の注意

- カバーが完全にブラケットに取付けられているか、フック部を見て確認してください。フック部がブラケットにしっかり引っ掛かっていない場合は、ラバーグリップをめくり鋭利な工具などを使用して、フック部を押し込んでください。





製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961

Fax. 072-243-7847

株式会社 シマノ

〒890-8577 堺市堺区老松町3丁77番地